

	<h2 style="margin: 0;">都内最大級！練馬のツツジが見ごろです</h2> <p style="margin: 0;">～平成つつじ公園に1万株のツツジが咲き誇ります～</p>	
見ごろ	4月下旬ごろまで（写真は4月25日に撮影）	交通機関：
ところ	区立平成つつじ公園（練馬区練馬1-17-6）	西武池袋線、都営大江戸線、地下鉄有楽町線 「練馬駅」下車、北口徒歩2分
<p>区立平成つつじ公園（練馬1丁目）では、約600品種、1万株のツツジが見ごろを迎え、訪れる人たちの目を楽しませている。園内には高さ3mの若楓（わかかえで）や雲の上（くものうえ）をはじめ、2m程の大株のツツジが随所に配置されている。</p> <p>また、ツツジとともにハナミズキも開花し、視界いっぱい美しい花々を楽しむことができる。</p> <p>今年は4月中旬から咲き始め、初夏の陽気により、一気に見ごろを迎えた。<u>今が一番の見ごろで、4月いっぱい楽しむことができそう。</u>4月29日（金・祝）には、「練馬つつじフェスタ」が開催される。公園は通年開園で、入園無料。</p>		
		
▲ 公園内の様子(4月25日撮影)		

【平成つつじ公園】（面積：約8,800㎡）

西武池袋線・地下鉄大江戸線練馬駅北口から徒歩2分のところにある区立公園。駅前を区の花である「ツツジ」で彩り、区民の憩いの場となるよう整備し、平成6年4月に開園した。面積は約8,800㎡、久留米ツツジ系を中心に約600品種、1万株が植栽されており、都内最大級。

ツツジの花は、例年3月上旬から5月中旬にかけて見ることができるが、公園内には特に久留米ツツジ系が多い。久留米ツツジは花色も豊富で、純白から濃赤・絞りなどバラエティーに富んでいる。今年は、4月中旬から咲き出し、今が一番の見ごろとなっている。樹齢100年、高さ3mを超える若楓（わかかえで）など、大株も数多く植えられているほか、平戸系、霧島系、さつき系、野生種、アザレア、ジャクナゲなども楽しむことができる。

【ここでしか見られない「練馬の鏡」】

公園内には、ここでしか見られない品種「練馬の鏡」がある。平成つつじ公園の完成を記念して、（一財）久留米市みどりの里づくり推進機構 久留米市世界つつじセンターが練馬区のために命名した久留米ツツジで、福岡県久留米市の育成者の協力により作られた。花は一重で淡い丹紅色。明るく上品で、ほのぼのとした暖かさを持つ現代久留米ツツジの名花である。

【練馬つつじフェスタ開催！】

日時：4月29日（金・祝）午前10時～午後5時（小雨決行）

内容：模擬店、ステージショー、フリーマーケット、こども縁日など（※）

（※フリーマーケットは南町小学校、こども縁日はココネリで開催）

主催：練馬つつじフェスタ実行委員会

【問い合わせ】

（平成つつじ公園について） 練馬区 東部公園出張所

電話 03-3994-8141

（練馬つつじフェスタについて） 練馬つつじフェスタ実行委員会

電話03-3557-5901